

レジメンcode:	C54-13	備考
適応がん種:	子宮体癌	
レジメン名:	Durvalumab+DC	
間隔:	3週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	イミフィンジ	1120	mg/body	点滴(1時間)	d1
DOC	ドセタキセル(タキソール)	70	mg/m ²	点滴(1時間)	d1
CBDCA	カルボプラチン(パラプラチン)	5	AUC	点滴(1時間)	d1

*Durvalumab+DC 4～6サイクル実施後、疾患進行が認められない場合
C54-09:Durvalumab+Olaparib(維持療法4週間) 又は C54-10:Durvalumab(維持療法4週間) に移行すること。

day1【ケモセーフ使用】

1) 生食	50ml	1 本	ルート確保	
2) イミフィンジ		1120 mg/body		
生食	100ml	1 本		
	主管①	点滴	1時間	インラインフィルター必須
3) 生食	50ml	1 本		
	主管②	点滴	15分	フラッシュ用
4) アロカリス	235mg	1 V		
パロノセトロン	0.75mg	1 V		
デキサート	3.3mg	1.5 A		
生食	50ml	1 本		
	主管③	点滴	30 分	
5) ドセタキセル(タキソール)		70 mg/m ²	【ケモセーフ使用】	
ブドウ糖液5%	250ml	1 袋		
	主管④	点滴	1時間	
6) カルボプラチン(パラプラチン)		5 AUC	【ケモセーフ使用】	
生食	250ml	1 袋		
	主管⑤	点滴	1時間	
7) 生食	50ml	1 本		
フラッシュ				
〈所要時間 約4時間〉				

【文献】

国際共同第III相試験(DUO-E J Clin Oncol 42:283-299(PMID:37864337))

*適応: 進行・再発の子宮体癌

(臨床試験の対象)

- ・化学療法歴のない進行・再発、FIGO分類(2009年版)Ⅲ/Ⅳ期の患者
- ・術後化学療法による治療歴は、最終投与から再発まで12ヶ月以上経過している場合は可
- ・Durvalumab+DC治療後、疾患進行が認められていない場合、維持療法へ移行する

*PD-L1発現の有無は問わない。

【イミフィンジ】

*甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に内分泌機能検査を実施すること。ホルモン検査(TSH、T4、ACTH、コルチゾール)は、1ヶ月に1回の実施を推奨。

◎検査セット登録あり: 場所 カルテ→(検体)→(特殊セット)→(免疫療法初回)(免疫療法2回目～)

*インラインフィルター(0.2又は0.22 μ m)を使用する。

*他剤との混合注射はしない。

*希釈後、室温で12時間以内または2～8℃で30日以内に使用

*適正使用ガイドの有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連)対処方法を参照する。

*臨床試験での検査スケジュール、投与延期または休薬基準を参照する。